49号　小企画プレゼン　　　　　　　　　　　　　　　文責　かなこ

**出張！粋診療所**（仮）

テーマ：職業病

企画概要：アルバイトで接客業をしているみなさん。狭い教室、朝の満員電車などで人とぶつかったときに、つい、「あっ、大変申し訳ございませんでした！」などと言ってしまったことはないだろうか？

　　　　　新しい環境にもようやく慣れてきた今日この頃。その環境で身に着けた癖がつい、ポロっと日常生活ででてしまった！という経験がある人も多いことだろう。そんな症例を病気に見立て、紹介する。

企画意図：ほかの読者のエピソードを見て「あ、これそういえば私もだー！」「やっぱりみんなもそうなんだ」などと自分に身についてしまった癖を振り返ってもらったり、共感をしてもらったりする。かるーく読んでもらえる記事にしたい。まあ、簡単に言ってしまえばいわゆる“あるあるネタ”。

企画内容：テーマごと（アルバイト職種別、習い事、学部別・・・etc）に読者の「職業病」ネタをアンケートで集め、それを「潜伏期間」「初期症状」「中期症状」、（さらにそれを放置しておいてなってしまった）「末期症状」、といった病状の進行具合になぞらえて掲載する。症例から病名（もどき）をつけても面白そう。

症例（飲み屋でバイトをしている私の場合）

→潜伏期間：ご飯を食べに入ったお店のメニュー表に焼酎とか日本酒とかがあると

　　　　　　名前をやたら覚えたくなる。

　初期症状：夕方に会った友達にも「おはようございます」

　中期症状：その辺を歩いているおじさんに、気軽に声をかけそうになる。

末期症状：家で母がキッチンで料理をしている背後を通りたいとき、つい

「後ろ通りまーすっ」、と結構大きな声で言ってしまう。